

青年部会全体集会・研修会

期日 令和五年六月二十八日
会場 静岡県総合社会福祉会館

今年度の青年部全体集会は昨年と同様の現地開催として、会員の皆さんとお会いできるものとなりました。全体集会では、保育連合会副会長の岡田泰稔先生より、コロナ禍における保育業界についてや青年部会の成り立ちまた、一般社団法人となった保育連合会等のお話をいただきました。また部会長の後藤先生からは、「持続可能な組織として皆さんと一緒につくっていききたい」、青年部会は「サードプレイス」という考えを提唱、職場でも家庭でもない第三の場所をつくっていききたい等のお話がありました。また今年度から青年



部会総会は全体集会と改めました。全体集会後の研修会では昨年度大変好評をいただきました今年度もご講義いただきましたPeace代表の石坂秀己先生に「デイズニール人が育つ

風土作り」をテーマにご登壇いただきました



石坂先生は、東京デイズニールのアトラクションの責任者として約十五年勤務し、接客研修の基礎を築き上げ退職後、アミューズメント業界の人

材派遣会社にてさらに実績を積み。これまでの豊富な経験を活かし、「接客基本研修」「コミュニケーション研修」等を行っています。人材育成の話の中で、「わかりやすいことばを使う」「ほめる認める風土」をつくる事を前提条件として、できるようになることよりも「行動する「軸」をつくる事。たいせつなのは、関係性の構築という冒頭の話から園だけではなくこれからの組織、青年部会としての在り方にも共通する話だと思いました。今回の研修では前回よりもバージョンアップした研修ということで、より実践的な講義をテーマに、グループワークを主軸として「他

人をほめる」「評価する」方法をみなで考える、考えることで体験することで実になるそんな研修でした。二時間弱の講義でしたが始まりから終わりまであつという間で、特に、人を育てる方法はまさにこれから園内でもリーダー的ポディションにいる保育士の先生方にとっても納得のいく話ばかりだったように思えます。研修終了後の顔つきも皆さん笑顔で帰られた所などは研修の充実さをものがたっているように思えました。最後にコロナも終息に近づき、通常状態へともどろつつある今、どこの組織も帰属意識の低下を感じています。そんな今だからこそ、選択肢をひろげ、青年部会は、会員の先生がたにも、愉しさを嬉しさをもっと発信し共有すること、それこそが、持続可能な組織として大切なのだと改めて感じました。

